

皆さんこんにちは  
ようこそ隠岐へ

コーディネーターの石原さん

よろしくお願いします

## 「リモートトリップ to 隠岐」レポート



参加者の皆さん

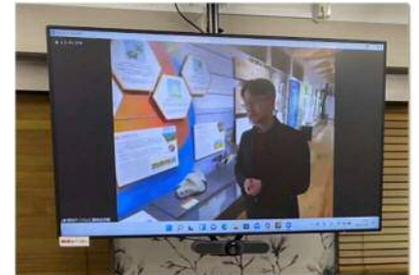
コロナ禍で旅行がなかなか思うように出来ない中で、注目を浴びているのがオンラインツアーです。県人会では隠岐の島の皆様のご協力によりオンラインによる旅行が実現し、桂会長はじめ役員他 11 名が名古屋の会議室から団体で参加しました。称して「リモートトリップ to 隠岐」。映像を通じた旅行の体験を事務局の湯淺が報告します。



### 隠岐から地球を知ることができます・・・「隠岐自然館」

私達は西郷港に降り立ち、最初に案内されたのは隠岐ジオパークウェイの2階にある「隠岐自然館」です。ここでは、隠岐ジオパーク推進協議会の野邊事務局長に隠岐の自然や島の成り立ち、そこで育まれた歴史や文化などについてとても分かりやすく説明をしていただき、隠岐の知られざる一面をうかがい知ることが出来ました。その例として「隠岐で地球のマントルに触られます」、「隠岐から世界そして地球全体を見ることができます」「皆さんが隠岐に来て石に躓いたらそれは宝石ですよ」とか、「隠岐では北海道に咲くハマナスと沖縄で咲くナゴランが同じところで見られますよ」等々、隠岐がユネスコ世界ジオパークに認定された背景とともに、隠岐の魅力をたっぷり伝えていただきました。

大学の先生を思わせる語り口の  
野邊事務局長



隠岐というと美しい景色、そして海の幸というイメージが強いのですが、それとは別に生物、自然科学の面でもお宝一杯の魅力ある島だと言うことがよく分かりました。今度訪れたら、まず旅の始まりは「隠岐自然館」という思いを強くして、次の見学地海士町へフェリーで向かいました。

### 後鳥羽院の遷幸 800 年祭に是非おこしく下さい・・・「隠岐神社」

海士町での最初の見学地は隠岐神社で、宮司さん、ガイドの千葉さんが迎えて下さいました。まず始めにお正月のお飾りが残る本殿に、名古屋の会場からも映像越しに参拝し、厳かな雰囲気の中で宮司さんと千葉さんに後鳥羽上皇にまつわるお話を伺いました。去年は後鳥羽上皇が隠岐に流されて 800 年にあたり、800 年祭が予定されていましたがコロナ禍で今年に延期され、3 月 6 日に後鳥羽院を主人公にした島民劇が行われるのをはじめとして、後鳥羽院と特に関わりの深い牛突きまで様々な行事が予定されているとお話がありました。そして、その行事に旅行に来られた皆様も是非参加していただきたいとお誘いがありました。



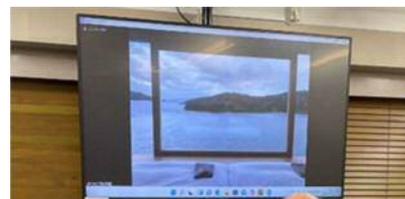
隠岐神社にリモート参拝

NHK の大河ドラマ「鎌倉殿の 13 人」では後鳥羽上皇は敵役として演じられていますが、それはそれとして隠岐では今でも後鳥羽上皇に寄せる島民の皆さんの思い入

れは強く、心のよりどころとして愛されているのだなと感じました。宮司さんと千葉さんの語りからも後鳥羽院への熱い思いが伝わってくる参拝でした。

### 隔たりのない部屋からは大パノラマが・・・「ホテル Entô」

隠岐神社の参拝の後は、宿泊する海士のホテル「Entô」へ。このホテルは、旧マリンポートホテルをリニューアルして昨年 7 月にジオパークホテルとしてオープンし、全国的にも注目を集めているホテルです。そこで迎えて下さったのは、今回の「リモートトリップ to 隠岐」を企画、コーディネートいただいた石原さんと隠岐ジオパーク推進協議会のヤゴダさんです。ヤゴダさんはポーランド出身ですが、とても流ちょうな日本語でホテルに併設されているジオラウンジやそこから見える景色、ジオパークの展示室などを分かりやすく案内いただきました。



ジオラウンジから見える絶景

続いて石原さんの案内でホテルの屋上から美しい海に浮かぶ島前の島々を見た後はいよいよ客室へ。ドアを開けて先ず飛び込んできたのは、大きなガラス窓越しに見える目の前の海です。まるで海の中に部屋が浮かんでいるような錯覚に陥るほどでした。このホテルのコンセプトは隔たりがないということで、まさに海と一体となった境の無い部屋という印象を受けました。ちなみに、この部屋は先日放映されたテレビ番組で嵐・松本潤さんが泊まった部屋だそうで、一泊 10 万円と聞いたところでは皆さんから驚きの声が上がりました。

しばし石原さんのトークを楽しんだ後は、窓越しに遠く見える島後の隠岐の島役場と中継につながり、池田町長、大庭副町長はじめ役場の皆様と歓談しました。

### 今年こそ会えたらいいね

面会のはじめは緊張しましたが、そこはお互い旧知の間柄。池田町長の「お久しぶりです」の挨拶をきっかけにすぐに打ち解けて、町長からはユーモアを交えて今年に延期になった行事などの紹介をいただきました。特に 9 月に行われる「古典相撲」の開催への思い入れが強く、名古屋からもぜひお越し下さいとお誘いを受けました。隠岐の島町出身の役員から「海士町ばかりが目立っているが、隠岐の島町もがんばって」とエールが送られる場面も。池田町長は「それで隠岐全体が盛り上がるなら・・・」と懐の深いところを見せられるも、大庭副町長からはもっとアピールをしたいという意気込みが伝わってきましたので乞うご期待です。話題は初場所の成績が振るわなかった隠岐の海への応援に及ぶなど会話ははずみ、始まりからおよそ一時間半に及ぶ旅はまたたくまに時間となりました。



後列 和田課長補佐 鳥井課長  
前列 大庭副町長 池田町長

最後に、石原さんからの呼びかけで案内して下さった皆様と一同に中継でつながり、今日の旅のお礼と再会を約束し、西郷港からフェリーで別れを告げました。

今回の「リモートトリップ to 隠岐」の実現にご尽力いただきました石原様はじめ案内いただきました皆様、ご多忙の中面会いただきました池田町長はじめ役場の皆様、そして寒い中、美しい映像を送って下さったカメラマンの皆様本当にありがとうございました。感謝、感謝です。

このレポートはほんの一部です。会員限定でユーチューブを公開しますので、そちらでお楽しみいただければと思います。他への拡散はお控えください。

<https://youtu.be/tCD4r1An0Es>



次ページに「リモートトリップ to 隠岐(写真)」を掲載しておりますのであわせてご覧下さい

海士に来ると大河ドラマとは違った後鳥羽院に会えますよ (千葉さん)

後鳥羽院の遷幸八百年祭には是非お越し下さい (宮司さん)

ポーランドは相撲がとても盛んです  
そのご縁で隠岐にやってきました  
皆さんも是非おいでください  
(ヤゴダさん)

隠岐の人々は宝石を踏んづけて生活してますよ (野邊さん)

大きな窓から見える景色は美しい海と島々の大パノラマ  
松潤さんが泊まった1泊10万円の部屋です

# リモートトリップto 隠岐 2022. 1. 21

旅の始まりは隠岐ジオゲートウェイにある「隠岐自然館」から

ホテルEnto客室

隠岐ジオゲートウェイ

遠い島ですが是非お出かけいただき  
ご縁が結べたら嬉しいです  
(石原さん)

旅の終わりに再会を約束して西郷港からお別れしました

しげさ大会の話題でおおいに盛り上がりました

隠岐の島町役場

名古屋会場

